

令和3年第10回 網走市教育委員会会議録

令和3年10月26日（火）午後3時00分 西庁舎2階会議室に招集した。

1. 出席者は次のとおりである。

教育委員 中山 真弓 ・ 伊藤 亮人 （欠席：富永 雄一 益村 公人）  
教育長 岩永 雅浩

2. 会議の議案は、次のとおり。

議案第1号 網走市立学校職員の自家用車の公用使用に関する規則の一部改正  
について【公開】【原案可決】

議案第2号 網走市いじめ問題等対策連絡協議会委員の委嘱について  
【公開】【原案可決】

議案第3号 網走市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について【公開】【原案可決】

議案第4号 令和3年度全国学力・学習状況調査結果の公表について  
【公開】【原案可決】

3. 説明のため出席した者は、次のとおり。

学校教育部長 田 口 徹  
学校教育部次長 小路谷 勝 巳  
学校教育部参事 高 橋 善 彦  
学校教育課長 小 松 広 典

4. 会議の書記は、次のとおり。

学校教育課庶務係 杉 山 絢 星

5. 会議の署名委員は、次のとおり。

本日出席委員全員及び教育長

岩永教育長

ただ今から令和3年第10回網走市教育委員会を開会いたします。  
本日の出席委員は教育委員2名と教育長が出席しております。  
富永委員、益村委員からは欠席との連絡がございました。

本日の会議録署名委員の指名ですが、出席委員全員と教育長といたします。

次に、令和3年第5回から第8回教育委員会会議録、および令和3年第5回、第6回臨時教育委員会会議録につきまして、記載した事項に関してご意見等がございましたら、ご発言をお願いします。

(「ありません」との発言)

特になければ、会議録は調整のとおり承認することといたします。

本日は議案4件でございます。

次に、教育行政について、事務報告をお願いいたします。

田口学校教育部長

まず初めに一点修正をお願いいたします。網走市教育委員会資料事務報告書の1頁下から4行目の9月14日となっている箇所を9月15日に修正してください。

7月30日から10月25日までの学校教育部行政報告

吉村社会教育部長

7月30日から10月25日までの社会教育部行政報告

岩永教育長

ただ今、報告のありました教育行政について、ご質問等ございませんか。

(「ありません」との発言)

特になければ、以上で教育行政についての事務報告を終わらせていただきます。

それでは、本日の議題に入ります。議案第1号「網走市立学校職員の自家用車の公用使用に関する規則の一部改正について」を上程いたしますので、事務局から説明をお願いします。

小松学校教育課長

議案書の2頁から3頁と委員会資料の1頁を併せてご覧願います。

ただ今、ご上程いただきました議案第1号「網走市立学校職員の自家用車の公用使用に関する規則の一部改正について」ご説明申し上げます。

改正の趣旨でございますが、これまでの規則では自家用公用車に児童生徒を同乗させる場合には「別に定める場合」として一定の要件のもと、部活動の引率に限り承認していたところですが、災害の発生など緊急時において、避難などの対応ができるよう、道立学校の取り扱いが改正されたことから、同様に改正を行うものです。

改正の内容については、資料の1頁の新旧対照表のとおり、緊急時対応の項目を追加しております。

施行日につきましては、令和3年11月1日としようとするものです。

以上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

岩永教育長

ただ今、議案第1号につきまして、提案理由の説明がございました。これにつきまして、ご質問あるいはご意見がございましたら、お受けしたいと思っております。

伊藤委員

資料を読んでいて、疑問に思った点がございましたので、お伺いします。

避難訓練の際にも、同乗させることができるということでしょうか。

小松学校教育課長

これまでは、規定の中で同乗させることはできなかったが、改正後は避難訓練の際にも同乗させることができます。

伊藤委員

分かりました、ありがとうございます。

岩永教育長

それでは、お諮りいたします。

議案第1号について、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

(「ありません」との発言)

異議なしと認めまして、本案は原案のとおり決定させていただきます。

次に、議案第2号「網走市いじめ問題等対策連絡協議会委員の委嘱について」を上程いたしますので、事務局から説明をお願いします。

小松学校教育課長

議案書の5頁と委員会資料の2頁をご覧ください。

ただ今、ご上程いただきました議案第2号「網走市いじめ問題等対策連絡協議会委員の委嘱について」ご説明申し上げます。

この協議会は、網走市附属機関条例に基づき、いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携の推進のために設置するものです。

委員の任期は、令和3年11月1日から令和5年10月31日までとしようとするものです。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

岩永教育長

ただ今、議案第2号につきまして、提案理由の説明がございました。これにつきまして、ご質問あるいはご意見がございましたら、お受けしたいと思えます。

中山委員

議案第3号にも関係していることですが、学校、教育委員会、児童相談所、地方法務局、警察署、その他教育委員会が適当と認める者と構成に記載されていますが、議案第2号には弁護士は入っていないで、議案第3号には弁護士が入っていますが、これはどういった区別でしょうか。

小松学校教育課長

網走市いじめ問題等対策連絡協議会という役割と、いじめ問題専門委員会の役割ですが、いじめ問題等対策連絡協議会につきましては、警察や児童相談所等の色々な団体に関わってくるのですが、その団体の方と普段から連携をとっていくことが目的です。

いじめ問題専門委員会の目的は、いじめ防止のための対策や教育委員会が必要としている事項について、仕組みそのものを審議していただくもので、いじめをなくすためには、どのようなことをしていけば良いのかを審議いただく委員会となっています。

岩永教育長

連絡協議会については、様々な団体の方で構成されていて、それぞれが持っている情報を交流することを主とし、専門委員会については、いじめに対する取り組みをどのようにするかという仕組みを作るために、公的にも問題ないか審議するために、専門家が入っているというところから良いでしょうか。

小松学校教育課長

はい、そのとおりでございます。

中山委員

分かりました、ありがとうございます。

伊藤委員

その2つの連絡協議会と専門委員会で、いくつかのアウトプットがあると思いますが、それは教育委員会にどのような形となって出てくるものなのでしょうか。

小松学校教育課長

まず、協議会のほうでは、普段から実際に生じることが想定される課題や、実際に起こった課題等を情報交換しますので、いじめ専門委員会の中で、そのようなケースが起こらないようにするためには、どのようにすれば良いのか、教育委員会で実施しているいじめ防止等の対策について一層推進するための方策を考えていただいて、改善を図っていくという動きになると考えています。



次に、議案第4号「令和3年度全国学力・学習状況調査結果の公表について」を上程いたしますので、事務局から説明をお願いいたします。

小路谷学校教育部次長 ただ今、ご上程いただきました議案第4号「令和3年度全国学力・学習状況調査結果の公表」について、網走市における結果の概要と、今後の取組についてご説明いたします。

議案書の8頁と、別冊の資料をご覧ください。

まず、実施内容ですが、本調査は、小学校6年生254名、中学校3年生245名を対象に5月27日に実施しました。

平成31年度（令和元年度）から問題形式が変更になっており、平成30年度までは、主に「知識」に関するA問題と、主に「活用」に関するB問題に分けて実施されておりましたが、令和元年度からは「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施されております。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国調査は実施されておられません。

2頁から3頁には、平均正答率、平均正答数、平均正答率の推移を記載しています。

「各教科の平均正答率・平均正答数」を見ていただきますと、小学校は国語が全国平均を0.9ポイント下回り、算数が2.0ポイント下回りました。両教科とも、全国平均は下回りましたが、北海道の平均は上回っています。

中学校は、全国と比較して国語が2.6ポイント、数学が3.7ポイント下回りました。中学校は、令和元年度と比べ、国語は全国との差が若干広がっており、数学は縮まる結果となりました。

「平均正答率の推移」をご覧ください。調査問題は毎年異なり、平均正答率を年度間で比較することができませんので、全国平均を100とした時の網走市の平均正答率で比較しております。今年度の中学3年生は、平成30年に小学校調査を受けた学年になります。

3頁下段から4頁は、各教科領域別の状況をレーダーチャートで示しています。小学校は、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域で全国平均を上回りました。他についても、全国平均を大幅に下回る領域がないことが読み取れます。中学校は、国語の「書くこと」の領域で全国平均を上回りましたが、国語の「読むこと」と数学の「関数」等いくつかの領域で課題があることが分かります。

5頁、6頁は、児童生徒質問紙調査の状況をレーダーチャートで示しています。まず、5頁の「学習習慣・生活習慣」のチャートから読み取れる特徴としては、「学校の授業時間以外に普段1時間以上勉強する」児童生徒の割合が、全国に比べ低い傾向を示していることがわかります。

今年度の児童生徒に見られた課題ではなく、継続して課題が見られていることから、家庭学習の指導を工夫・改善していくことが課題であると受け止めております。

6頁の、「自尊意識、規範意識」の項目については、年度によって特徴が異なり、網走市の特徴・傾向という見方ができないところもありますが、「全国より良い傾向」であるかどうかではなく、「そう思う」と回答できる児童生徒がより多くなるように取組んでいく必要があると受け止めています。

今年度の小学校では、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」、中学校では、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」で全国より高い傾向を示しました。

「自分には、良いところがあると思う」で、小中学校とも全国平均よりも低い傾向を示しております。各学校では、自尊感情を高めるための取組を重点化しているところではありますが、さらに実感を伴った指導となるよう工夫・改善していく必要があります。

7頁から10頁には、教科に関する調査結果を掲載しております。

まず、7頁の小学校国語ですが、全国との差はマイナス0.9割ですが、全道との差はプラス0.6割です。問題別でも、14問中7問で全国を上回り、正答数が0問、1問の児童の割合も低くなるなど、改善の傾向が見られております。

次に、8頁の小学校算数は、全国との差はマイナス2.0割で、全国より、やや低い結果になっております。全国を大幅に下回る領域はありませんが、記述式で回答する問題の正答率が全国より低く、無解答率も高い傾向が見られました。

次に、9頁の中学校国語ですが、全国との差はマイナス2.6割で、全国より、やや低い結果になっております。中学校の国語は、経年で見ましても、数学より全国との差が少ない教科で、今年度も同様の傾向が見られました。

次に、10頁、中学校数学ですが、全国との差はマイナス3.7割です。令和元年度はマイナス6.8割であったことから、全国との差は縮まる結果となりました。正答数の分布をみると、正答数が少ない生徒の割合が多く、設問ごとで見ても、全国を上回った問題は16問中2問だけでした。また、国語に比べ、無回答率も高い傾向が見られました。

学校毎の結果は公表しませんが、課題のある教科、領域は学校ごとに異なっております。

各学校が調査結果を分析し、学校全体で共通して取り組むことや、児童生徒一人ひとりの学力に応じて指導することなどを確認し、改善に努めているところです。

11頁から15頁は児童生徒質問紙、学校質問紙の状況です。

11頁には、家庭での学習習慣と読書習慣について、グラフを記載しています。

5頁のレーダーチャートで、「家で1時間以上勉強する」が全国より低いと説明しましたが、経年で見ますと、令和元年度よりは1時間以上勉強する児童生徒の割合は減っているものの、小学校、中学校ともに改善の傾向にあることがわかります。また、「全くしない」と答える児童生徒の割合は、経年で減少していることがわかります。

「1日当たり読書をする時間」は、「全く読まない」割合が高くなっていることから、家庭学習の指導とともに、児童生徒の読書習慣を身に付けていくことも課題であると受け止めております。

12頁から15頁は、「児童生徒質問紙と学校質問紙の比較」を掲載しています。

学校の指導の状況と、児童生徒の定着状況、意識の乖離などについて分析する資料になっております。各学校には、自校の児童生徒の回答状況を分析し、課題に応じて組織的な取組を進めるよう指導助言しているところ です。

16頁から17頁は、「質問紙調査と平均正答率との相関」について記載しています。主に生活習慣、学習習慣に関わって、相関関係が見られた項目を6点取り上げております。

「1日の学習時間」が長いほど平均正答率が高い傾向があることがわかります。また、「朝食を毎日食べている」「毎日同じ時刻に寝ている」といった生活習慣に関する項目についても、相関関係が見られました。「学校に行くのは楽しい」と回答する児童生徒も正答率が高い傾向にあることがわかります。

18頁から19頁は、「調査での課題と改善のポイント」です。

18頁は、今回の調査結果を受けて、「学校が組織全体で取り組むこと」について、改善する点と改善のポイントを示しております。19頁は、児童生徒質問紙の回答から「家庭で取り組んでいただきたいこと」について示しております。

20頁から21頁は、「網走市教育委員会における学力向上の方策」について、7点について記載しております。多くは昨年度から引き続き取り組むものですが、新たなものとして、「2 子どもの学びを支える教育環境の整備を図ります」の(1)一人一台端末等のICT危機を効果的に活用した授業改善を加えております。

また、「6 思いやりを大切に、豊かな心や地域を愛する心を育みます」の(5)「夢教室」や「子ども夢育事業」の推進について、これまで取り組んできたことを明文化しております。

以上、ご説明申し上げた資料を、網走市公式ホームページにて公表し、概要を3ページにまとめたものを広報「あばしり」12月号に掲載します。

以上で説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

岩永教育長 　　ただ今、議案第4号につきまして、提案理由の説明がございました。これにつきまして、ご質問あるいはご意見がありましたら、お受けしたいと思っております。

伊藤委員 　　報告の内容に関してではありませんが、結果をホームページ等に掲載されるということでしたが、どのような方に見てほしくて、どのような周知の仕方をされるのでしょうか。

小路谷学校教育部次長 　公式ホームページに掲載し、多くの市民の方に見ていただくということは、どういった形で掲載するかは検討させていただきます。多くの市民の目に触れるのは、広報「あばしり」での文面で、まずは概要を見ていただき、詳しくは公式ホームページに掲載されている旨も記載し、気になった方は、ホームページで詳細を確認していただくという形が、より多くの市民の方に見ていただける方法ではと考えております。

伊藤委員 　　分かりました。ありがとうございます。

中山委員 　　15頁の中学校の学校質問紙の中の下から2段目ですが、国語の授業において、「目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか」というところで、「どちらかといえば行った」が100%だったのが少し気になって、学び合いのような授業は、なかなか積極的に行うことは難しいのでしょうか。

小路谷学校教育部次長 　今年から、中学校では学習指導要領が全面的に施行されまして、より一層委員のおっしゃった通り、学び合い等の授業は必要になっているところで、各学校研修、研究をしている段階でございます。そういったことを照らし合わせた時に、学習指導要領に求められている目標や内容を研究途中ということで、「よく行った」ではなく「どちらかといえば行った」という回答が、反省も含め学校から出されているのではないかと思います。

中山委員 　　分かりました。ありがとうございます。

岩永教育長 　　それでは、お諮りいたします。

議案第4号について、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

(「ありません」との発言)

異議なしと認めまして、本案は原案のとおり決定させていただきます。

以上で、本日の案件につきましては、すべて終了いたしました。その他、案件以外で何かございますか。

伊藤委員

各校のオープンスクールについて、コロナの影響がありますので、なかなか訪問するというのは難しいこともあると思いますが、もし可能な学校があれば、伺いたいと考えておりますので、オープンスクールの情報も教えていただければと思います。

小路谷学校教育部次長

承知いたしました。学校によっては、オープンスクールという名でも保護者以外の来賓は受け入れてないところもありますので、来賓が可能な学校があれば、打ち合わせしたいと思います。

伊藤委員

分かりました。ありがとうございます。

岩永教育長

一点、情報提供があります。

本日、オホーツク教育局の谷川次長から情報提供がありまして、1月13日にオホーツク管内のミドルリーダーの養成講座が網走で開かれます。ここに来られる講師の方が、初等中等局の局長と学習指導要領の部会長が来られるということで、このような機会はないと思いますので、良ければ教育委員の皆様にもご参加いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして本日の教育委員会を閉会させていただきます。  
お疲れ様でした。

【午後3時49分 閉会】